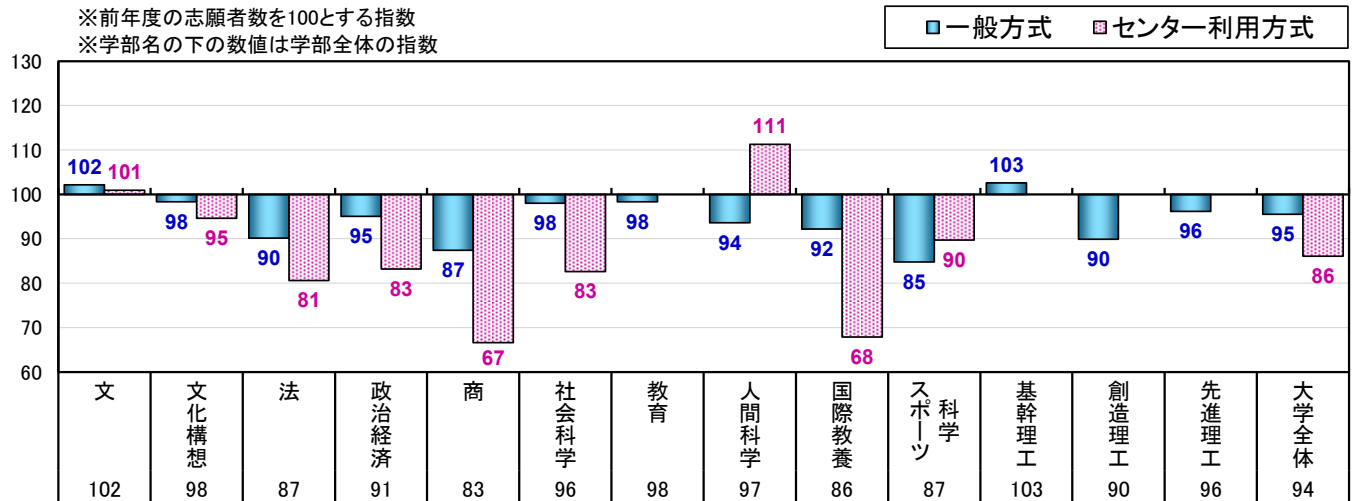


2020 年度入試状況分析【私立大】

早稲田大：大学全体では2年連続減少

一般：-4,178人 センター：-2,584人



入試変更点 選抜方法：文、文化構想<英語4技能利用>…対象試験に TEAP CBT 追加
対象試験：TEAP、IELTS、英検、TOEFL iBT、ケンブリッジ英検、GTEC CBT、英検 CBT
→TEAP、IELTS、英検、TOEFL iBT、ケンブリッジ英検、GTEC CBT、英検 CBT、TEAP CBT

COMMENT ※ () 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、6,762人(94)のやや減少で2年連続減少。最難関大を敬遠する傾向が影響。方式別では、一般方式(95)はやや減少で2年連続減少、センター利用方式(86)は2年ぶりに減少。学部別では、基幹理工(103)、文(102)のみ増加。

- <一般方式>
- 文(102)は、微増で2年ぶりに増加。方式別では、対象試験拡大の<英語4技能>(131)が大幅増加で3年連続増加。
 - 文化構想(98)は、微減で2年連続減少。方式別では、対象試験拡大の<英語4技能>(118)が大幅増加で3年連続増加、<一般>(95)はやや減少で3年連続減少と対照的。
 - 法(90)は、2年連続増加の反動で減少。
 - 政治経済(95)は、やや減少で3年連続減少。学科別では、(政治)(89)は3年連続減少、(経済)(92)は2年ぶりに減少。一方で、(国際政治経済)(117)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。
 - 商(87)は、3年連続減少。
 - 社会科学(98)は、微減だが2年連続減少。
 - 教育(98)は、前年度大幅減少の反動はなく、2年連続減少。学科・専攻・専修別では、前年度大幅減少した反動から、(教育/生涯教育)(139)、(理/地球科学)(125)が大幅増加、(社会/公共市民)(110)、(教育/教育)(109)は増加。一方で、前年度大幅増加した反動から、(教育/教育心理)(65)、(教育/初等教育)(76)は大幅減少。
 - 人間科学(94)は、やや減少だが2年連続減少。学科別では、(健康福祉科学)(114)は2年ぶりに増加したが、(人間情報科学)(81)、(人間環境科学)(85)はいずれも大幅減少。
 - 国際教養(92)は、2年ぶりに減少。
 - スポーツ科学(85)は、大幅減少で2年連続減少。
 - 基幹理工(103)は、やや増加で3年ぶりに増加。学系別では、(学系II)(111)は2年連続減少の反動で増加。(学系I)(106)は2年連続増加。一方で、(学系III)(75)は3年連続増加の反動で大幅減少。
 - 創造理工(90)は、3年連続減少。学科別では、(経営システム工)(127)が前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(総合機械工)(73)、(社会環境工)(82)は大幅減少。
 - 先進理工(96)は、やや減少で5年連続減少。学科別では、(生命医科学)(126)が大幅増加。一方で、(電気・情報生命工)(70)が5年連続増加の反動で大幅減少。(応用物理)(80)も大幅減少。

- <センター利用方式>
- 文(101)は、微増だが3年連続増加。方式別では、<セ・併用>(122)は大幅増加、<センターのみ>(84)は大幅減少だが、いずれも前年度の大幅増減の反動。
 - 文化構想(95)は、やや減少で2年連続減少。方式別では、<センターのみ>(89)が2年連続増加の反動で減少、<セ・併用>(99)は前年度並。
 - 法(81)は、前年度の大幅増加の反動で大幅減少。
 - 政治経済(83)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。3学科とも減少だが、特に(国際政治経済)(68)と経済(85)は大幅減少。
 - 商(67)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
 - 社会科学(83)は、反動により大幅減少。
 - 国際教養(68)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
 - スポーツ科学(90)は、2年連続減少。方式別では、<セ・併用>(89)が前年度大幅減少の反動はなく、さらに減少。